

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		決勝トーナメント(1回戦)	
日時	平成15年8月 23日 (土)	10:50 ~	
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)	Dコート	第2試合
結果	樟蔭東	9 - 15	松山南第二
	(大阪)	19 - 6	
	58	13 - 9	
	47	17 - 17	
	(愛媛)	-	
主審	伊藤 恭子 (北海道)	副審	森本 友明 (東京)

【個人トータル表】

樟蔭東(大阪)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	上部 麻衣	19	1	7	2	2
5	森上 沙知	2	0	1	0	5
6	遠藤 郁佳	0	0	0	0	0
7	姫野 愛	0	0	0	0	1
8	広倉 千夏	14	1	4	3	1
9	泉野 由香	9	1	3	0	0
10	滝澤 綾佳	2	0	0	2	2
11	松浦 由依					
12	高田 美紗子					
13	青木 綾花					
14	広倉 綾乃					
15	藪田 早紀	12	0	4	4	1
16	牧野 由香					
17	中道 麻衣					
18	檜原 亜衣					
合計		58	3	19	11	12

松山南第二(愛媛)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	藤本 真央	12	2	2	2	2
5	岩井 英里香	13	2	3	1	0
6	伊賀上 真衣	7	1	1	2	2
7	倉田 芽育	8	0	4	0	4
8	柏 彩	6	0	3	0	4
9	門脇 知佳					
10	日野 真琴	1	0	0	1	3
11	大野 結衣					
12	松本 有紀					
13	野口 慶美					
14	竹田 結紀子					
15	藤澤 晴香					
16	福岡 香織					
17	徳吉 美穂					
18	山村 亜衣					
合計		47	5	13	6	15

【戦評】

Pリーグを、持ち前の走力と粘り強いディフェンスで勝ち上がった樟蔭東と、高さを生かしベスト16に勝ち上がった松山南第二中の一戦。持ち味がお互いに違い、ベスト8を賭けた注目の一戦である。

1クォーター、序盤樟蔭東の早い切り返しと#4上部の3Pで流れをつかむ。3分過ぎから、松山南第二#7倉田、#8柏の高さを生かすプレイ、ナンバープレイが決まり一気に逆転し、優位に進め15-9と6点リードで終了。

2クォーター、出だしから樟蔭東のプレッシャーマンツーマンディフェンスが機能し、松山南第二の足が止まった。そこを突いて激しく攻めた樟蔭東が5分過ぎ、一気に逆転した。途中から交代した#7姫野が出てから樟蔭東の動きが変わった。松山南第二も#6伊賀上の3Pで食い下がったが、樟蔭東の28-21と7点リードで前半を終了した。

3クォーター、松山南第二は2-1-2ゾーンディフェンス、樟蔭東はオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。松山南第二がポストマンのハイローの合わせ、ポストプレイが決まり流れをつかみかけたが、ルーズボール、リバウンドを粘る樟蔭東がペースを握る。#4上部が攻守にわたりチームをリードし41-30と樟蔭東が11点リードし終了。

4クォーター、樟蔭東#5森上が開始早々にファウルアウト。ここから松山南第二の反撃が始まった。#4藤本の連続シュートで8点差まで縮めるも、樟蔭東#4上部が要所で得点しゲームを決めた。松山南第二の、最後まであきらめないプレーに拍手をおくりたい。

山田 秀剛(南幌)

【トーナメント戦績】

